

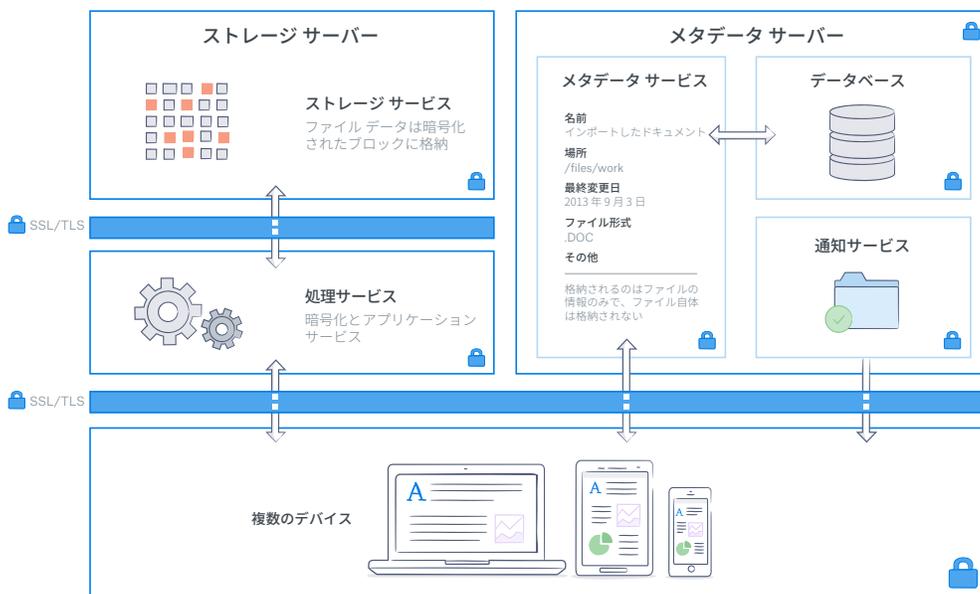
Dropbox Business の Enterprise プランのセキュリティ

Dropbox は、信頼に応えることを何よりも重要視しています。データを安全に保ちながら、最高水準のパフォーマンスと使いやすさを提供してきたことで、Dropbox は 5 億人を超えるユーザーの信頼を得てきました。また、Dropbox は、多くの人が使用しているツールという利点に加えて、IT 管理者が社員とデータを保護するのに必要な制御機能を備え、認証も受けているため、20 万社を超える企業に愛用されています。Dropbox はまさに他に例をみないセキュリティを企業に提供できるツールと言えます。

- 強力な設計基盤:** Dropbox は、複数の保護レイヤーを分散型インフラストラクチャ全体に適用し、信頼性の高さを実現しています。日々 12 億件のファイルを同期する Dropbox のインフラストラクチャは、大規模なパフォーマンスに最適化されており、その性能は世界水準のセキュリティ組織から認められています。
- ビジネス要件を満たすコンプライアンス:** Dropbox では、ISO 27001 や SOC 2 など最も広く認められている規格を、お客様の業界のニーズに適したコンプライアンス対策と組み合わせるという手法を採用しています。その上で、お客様が Dropbox のセキュリティ プラクティスを確認できるように、第三者機関による監査レポートを公開しています。
- ユーザーの多さ - セキュリティにおける究極の利点:** Dropbox では、認可された安全なプラットフォームをユーザーが使用することで初めて本当のセキュリティを実現できると考えています。使いやすく、ユーザーの多い Dropbox Enterprise は社内データの一括管理に適しており、これが結果的に可視性の向上と制御の強化につながっています。

アーキテクチャ

毎日 12 億件以上のファイルが保管される Dropbox には、どのような規模でもデータのセキュリティを確保できる設計が施されています。Dropbox は、データ転送、暗号化、ネットワーク設定、アプリケーションレベルの管理などを対象とする複数の保護レイヤーを備えており、これらの保護は拡張可能で安全なインフラストラクチャ全体に適用されています。



Dropbox は、従来の暗号化を超える独自のセキュリティの仕組みを利用して設計され、ユーザーのデータを保護しています。暗号化とアプリケーション サービスでは、Dropbox アプリケーションからのファイルをブロックに分け、強力な暗号を使用して各ファイル ブロックを暗号化し、リビジョン間で変更のあったファイル ブロックのみを同期します。

暗号化は、セキュリティ プロトコルの重要な要素です。転送中のデータを保護するために、Dropbox アプリと Dropbox サーバーとの間で行われる転送では、128 ビット以上の AES 暗号化で保護されている安全な SSL/TLS トンネルが使用されます。Dropbox に保管されているファイルは、256 ビットの Advanced Encryption Standard (AES) によって暗号化されます。



Dropbox では、ファイル コンテンツ (ファイル ブロック) と、ファイルやユーザーに関するメタデータの 2 種類のデータを格納しています。メタデータはすべて、Dropbox サーバーに保管されます。ファイル コンテンツもほとんどのものが、Magic Pocket と呼ばれるシステムの Dropbox サーバーに保管されます。Magic Pocket は、独自のソフトウェアとハードウェアで構成されるシステムで、信頼性と安全性を実現するために緻密に設計されています。ファイル コンテンツのごく一部は、管理サービス プロバイダの アマゾン ウェブ サービス (AWS) に保管されます。Magic Pocket と AWS はいずれも保管中のファイル ブロックを暗号化し、信頼性に対する高い基準を満たしています。

信頼性と耐久性

Dropbox では、アーキテクチャ、アプリケーション、および同期メカニズムが一体となって、ユーザー データの保護と高可用性を実現しています。メタデータの冗長コピーは、データ センター内にある独立した複数のデバイスにわたって、N+2 の可用性モデルを使用して分散されています。すべてのメタデータに対して、1 時間ごとの増分バックアップと 1 日 1 回の完全バックアップが行われます。ファイル ブロックの冗長コピーは、地理的に離れた 2 つ以上の場所で別々に保管され、それぞれの地域で確実に複製されています。Magic Pocket も AWS も、99.99999999 % 以上の年間データ耐久率を提供するように設計されています。

まれにサービスを利用できない事態が発生しても、Dropbox ユーザーは、リンクしているコンピュータ上のローカル Dropbox フォルダから最後に同期したファイルのコピーにアクセスすることができます。ダウンタイム中、停止中、オフライン時は、ユーザーのハード ドライブから Dropbox デスクトップ クライアント/ローカル フォルダ内の同期済みファイルにアクセスできます。ファイルやフォルダへの変更は、サービスまたは接続が復旧次第 Dropbox に反映されます。

「Dropbox に搭載されている暗号化機能とトランスポート レイヤー プロトコルのおかげで、データ セキュリティを心配する必要がなくなりました。」



Brandt Companies IT 担当ディレクター
ターロバート・エバレット氏



コンプライアンス

企業に適用されるコンプライアンスの規格や規制は多数ありますが、Dropbox では、最も広く認められている規格を、お客様のビジネスや業界固有のニーズに適したコンプライアンス対策と組み合わせるという手法を採用しています。Dropbox とそのデータ センター、および Dropbox のマネージド サービス プロバイダは、定期的に第三者機関による監査を受けています。



ISO 27001

ISO 27001 は世界中で認められている情報セキュリティの最高基準です。Dropbox の情報セキュリティ管理プログラムは、オランダを拠点とする第三者機関、Ernst & Young CertifyPoint により認証されています。この企業は、国際認定フォーラム (IAF) のメンバーである Raad voor Accreditatie (オランダ認定評議会) からの ISO 認定を取得しています。Ernst & Young CertifyPoint が発行する ISO 27001 証明書は、すべての IAF 加盟国で有効と見なされます。Dropbox の ISO 27001 証明書は、こちらでご覧いただけます。

ISO 27018

ISO 27018 は、お客様の代わりに個人情報を処理する Dropbox のようなクラウド サービス プロバイダに適用される、プライバシーとデータを保護するための新たな国際規格です。この認証は、弊社のプライバシーとデータ保護への取り組みを示しており、お客様が一般的な規制や契約上の要件あるいは疑問に対応するための基盤となるものです。Dropbox の ISO 27018 証明書は、こちらでご覧いただけます。



SOC 1, 2, 3

Dropbox は Ernst & Young LP により実施される次の Service Organization Control (SOC) テストも受けており、それぞれのテストに関するレポートが公開されています。

Dropbox の **SOC 3** レポートは、セキュリティ、機密性、可用性、処理の完全性という Trust サービスの原則を対象としており、基準を満たしている組織には、米国公認会計士協会 (AICPA) SysTrust 認定証が付与されます。監査の一環として作成されるレポートには、Dropbox の SOC 2 レポートの要旨と、Dropbox の管理下にあるデザインとオペレーションの効率の高さに関する独立した第三者監査法人による見解が含まれています。このレポートは、こちらでご覧いただけます。

Dropbox の **SOC 2 タイプ 2** 監査は、管理機能に関する詳細なレベルの保証を提供するもので、セキュリティ、機密性、処理の完全性、可用性という Trust サービスの原則を対象としています。Dropbox の SOC 2 レポートには、弊社がお客様のデータを保護する上で使用するプロセスや、100 近くの管理機能に関する詳細が含まれています。ご希望のお客様にはこのレポートを提供いたします。

Dropbox の **SOC 1** レポートは、お客様の財務報告に係る内部統制 (ICFR) プログラムを支援するもので、主に、お客様の Sarbanes-Oxley (SOX) 法準拠のために使用されます。このレポートに関する独立したサードパーティによる検査は、保証業務基準書第 16 号 (SSAE 16) および国際保証業務基準第 3402 号 (ISAE 3402) に従って実施されます。ご希望のお客様にはこのレポートを提供いたします。



Cloud Security Alliance

Dropbox は、クラウド セキュリティのベスト プラクティスに関する教育を推進および提供する非営利団体 Cloud Security Alliance (CSA) のメンバーでもあります。Dropbox Business のセキュリティ セルフ アセスメントは、CSA の Security, Trust & Assurance Registry (STAR) に登録されています。STAR は公開されている登録情報であり、さまざまなクラウド コンピューティング サービスのセキュリティ管理、保証要件、成熟段階について、詳細に説明しています。



HIPAA/HITECH

Dropbox は、事業提携契約書 (BAA) を、必要とするお客様との間で締結しています。BAA は米国の医療保険の携行性と責任に関する法律 (HIPAA) と経済的および臨床的健全性のための医療情報技術に関する法律 (HITECH) を遵守するために必要な文書です。Dropbox は、Dropbox Enterprise の使用において HIPAA/HITECH のセキュリティおよびプライバシーに関する規定が満たされていることを示す必要のあるお客様向けに、Dropbox の社内での慣行と推奨事項との対応付けが記載されている文書を提供しています。

ユーザーへの浸透：企業に真のセキュリティをもたらすカギ

暗号化、セキュアなプロトコル、コンプライアンスへの対応は、どのような IT システムにとっても当然のことですが、ユーザーに浸透しなければセキュアなソリューションの価値を実現することはできません。また、新たなテクノロジーの導入には大きな課題も伴います。Dropbox は、ユーザーにとって使いやすいツールを提供すれば、認可された安全なプラットフォームにデータが集まり管理が行いやすくなると考えています。これが、真の可視性と制御を手に入れる最初のステップとなるはずで

Dropbox は、共同作業の場所が社内であろうと社外であろうと、あるいはパートナー、ベンダー、お客様のネットワークであろうと、ユーザーから選ばれる生産性ツールになることを目指して邁進してきました。業界屈指のパフォーマンスと使いやすさを誇る Dropbox は、導入いただいた組織でユーザーに広く浸透しています。それに加えて、Dropbox Enterprise では、それまでに使用されていた Dropbox の全データを、企業ドメインに移行することもできます。IT 担当者が求める制御機能を備え、ユーザーから圧倒的な支持を受ける Dropbox Enterprise は、従来のソリューションよりもはるかに大きな価値とセキュリティを提供します。

Dropbox Business の Enterprise プランで利用可能な可視性および制御機能の詳細については、[管理制御ガイド](#)をご覧ください。

「当社が取引を行う顧客の企業規模が大きくなるとともに、当社で使用するシステムの安全性を完全に確保する必要性も高まっていますが、Dropbox Business はその点においても理想のソリューションであると言えます。」

Campaign Monitor UX
担当ディレクターバズ・オズボーン氏

 **Campaign Monitor**

